

## 富山県生物学会の活動について

富山大学理学部客員教授 増田 恭次郎

私が富山大学文理学部生物学教室に赴任したのは、昭和43年11月でした。年が明けて、44年6月に大雨が降りました。当時市内電車の新富山駅近くに下宿していましたので、翌日出勤前に神通川を見に行ったところ、川幅いっぱいに流れていて凄い雨だったんだとびっくりしました。大学で正午のニュースを聞いていたら、神通川の橋が落ちましたとの放送にまたまたびっくりしました。大学側の一番初めの橋脚が崩れたのです。歩行者用の仮り橋ができるまでは富山駅に行くにも繁華街に行くにも神通大橋か有沢橋を廻らないと行けません。それらの橋は一本で歩道はありませんでした。

大学時代の同級生が日本医科大学に就職していました。同年、その友人からうちの大学が劔沢小屋に医療班を出しているから、7月下旬に劔岳登山に行かないかとの誘いがありました。当時東京富山間は特急で6時間、便数も少なく、立山連峰は知っていましたが東京からは遠い山でした。もっぱら南アルプスを歩いていました。劔岳登山は初日から雨とガスで山体が見えません。真砂岳では室堂側へ下りかける始末です。その夜は土砂降りの雷雨、テントの登山者達が小屋に逃げ込んできました。2日目も雨、劔岳の姿は見えません。雨の合間を見て、医療班のメンバーが雪渓で滑落した時の訓練をすると云うので参加しました。初めてピッケルを持って雪渓の斜面を歩き、谷側に落ちて素早くピッケルを抱え、腹這いになって止まるまで耐える練習。20m以上滑り落ちた記憶があります。重いザックを担いでいたらどのくらい耐えねばならないのでしょうか。ぞーとしました。3日目も雨、風も強くびしょ濡れになって帰宅しました。3日間ついに劔岳の顔を見ることがありませんでした。

富山県生物学会に何時入会したか記憶がありません。当時、上司の小林貞作先生が学会長でした。役員会を先生の研究室で行っていましたので、本多啓七先生のお顔を良く拝見していました。小林先生も本多先生も立山緑化委員会の委員でもありましたので、その会合だったのかもしれませんが。立山緑化復元は現地の植物で行うと云う計画の下で行われていたので、高山植物の種子採集には何回か同行させて頂き、室堂平一帯を歩き回り種子集めをした楽しい思い出があります。本多先生から室堂平の植生に付いて、ここは室堂山や浄土山からの水の供給があって乾き難いと土地ですと（室堂平上部、室堂山荘近くにはミヤマイの大きな群落がありました。が園地化で乾燥化が進み今ではすっかり衰えています）、室堂の現地で話を伺ったことを覚えています。当生物学会の観察会でのことだったのか、立山緑化関係で室堂にいた時のことだったのか定かではありません。

学会活動の一つに野外観察会が開催されていました。参加者に小学校の先生もいました。川がある場所の時は何時も釣り竿を持参し、昼休みに溪流釣りを楽しんでいる方がいました。小学校中学校の理科教育部会を通じて入会されていたのでしょうか。趣味の会的で家族的な雰囲気の楽しい会でした。

溪流での観察会でのことです。溪流に入り溪流の石を持ち上げた途端、何かが飛び出しました。カワゲラが羽化して飛び立ったことを知りました。水の中で羽化するなんて知りませんでした。観察会は、ほとんど私の知らない場所でしたから何時も興味深く参加してきました。自動車免許証を持たないので現地集合が難しく、なかなか参加することができなくなりました。最近はやい先生の入会が少ないですが、特に小中学校の先生の入会が皆無ではないのでしょうか。学校の先生は余りにも忙しすぎて、趣味を楽しむ余裕が無いのでしょうか。会員拡大の職域だと思うのですが。

学会と云うと専門家の集団で一般には堅いイメージ、取っ付き難いと云う感じでしょうか。当学会の会誌は、富山市科学文化センター（現在、富山市科学博物館）の関係者が会員になられてから目覚ましく改良されレベルアップしたと思います。ひとえに関係者の皆様のご尽力の賜と喜んでいきます。一方会誌の名称「富山県の生物」からイメージする内容は分類や生態が強いように思います。生物の生化学や生理学に興味のある方も多いと思いますが会には参加されていないのでしょうか。そのような記事が皆無に等しいと見うけられます。なんとかしてこれらの分野に関心のある方々を取り込めないものだろうか。そして会の幅をもっと広げられないかと思えます。また、最近の会の活動が調査研究に重きを置いているように感じられます。専門家セミプロ集団としては当然の活動でしょう。一般大衆へ向けた啓蒙活動は可成りのエネルギーを要求されます。有峰自然観察会は担当者の努力で質の高い観察会になっていて、これはこれですばらしいと思います。両方をこなすのは会員の本職との関係で時間的に余裕が無いのでしょうか。

自然に親しんで、動植物を身近に観察し、生物への興味を引き出すきっかけになるような活動ができれば良いと願っています。